

令和3年度 JST情報サービス利用者の満足度調査 (JREC-IN Portal登録ユーザおよび一般ユーザ向け)

令和4年5月10日
国利研究開発法人科学技術振興機構
情報基盤事業部

目次

調査結果の詳細.....	4
調査結果の詳細：JREC-IN Portal利用頻度.....	6
調査結果の詳細：JREC-IN Portalユーザ登録有無.....	7
調査結果の詳細：利用している求人求職機能.....	8
調査結果の詳細：Web応募機能の利用経験.....	9
調査結果の詳細：Web応募機能.....	10
調査結果の詳細：求職者照会メールの利用意向.....	11
調査結果の詳細：職業紹介事業者.....	12
調査結果の詳細：職業紹介事業者（自由記述回答）.....	13
調査結果の詳細：職業紹介事業者（自由記述回答）.....	14
調査結果の詳細：JREC-IN Portal役立ち度.....	15
調査結果の詳細：役に立っている理由.....	16
調査結果の詳細：役に立っていない理由.....	17
調査結果の詳細：就職決定有無.....	18
調査結果の詳細：就職決定時期.....	19
調査結果の詳細：就職決定前後の機関種別.....	20
調査結果の詳細：利用満足度.....	21
調査結果の詳細：希望職種.....	22

目次

調査結果の詳細：求人情報を希望する機関.....	23
調査結果の詳細：JREC-IN Portal以外の求人情報.....	24
調査結果の詳細：JREC-IN Portalに 期待する機能（抜粋）	25
調査結果の詳細：JREC-IN Portalに 期待する機能（抜粋）	26
調査結果の詳細：役に立つコンテンツ	27
調査結果の詳細：ご意見・ご要望.....	28
調査結果の詳細：JREC-IN Portal以外で利用しているJST情報事業のサービス.....	29
調査結果の詳細：JREC-IN Portal以外で利用しているJST情報事業のサービス.....	30
調査結果の詳細：年齢.....	31
調査結果の詳細：地域.....	32
調査結果の詳細：所属.....	33
調査結果の詳細：職種.....	34
調査結果の詳細：任期.....	35
調査結果の詳細：専門分野.....	36
質問票.....	37

調査結果の詳細

- ◆調査目的 : 国立研究開発法人科学技術振興機構が提供する主要な情報サービスについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。
- ◆調査対象 : JREC-IN Portal登録ユーザーおよび一般ユーザー
- ◆調査方法 : インターネットリサーチ
- ◆調査時期 : 2022年1月27日（木）～2月25日（金）
- ◆有効回答数 : 10,170サンプル

調査結果の詳細

<設問種別> ※各設問文の右上に記載

SA 単一回答

MA 複数回答

FA 自由回答

調査結果の詳細：JREC-IN Portal利用頻度

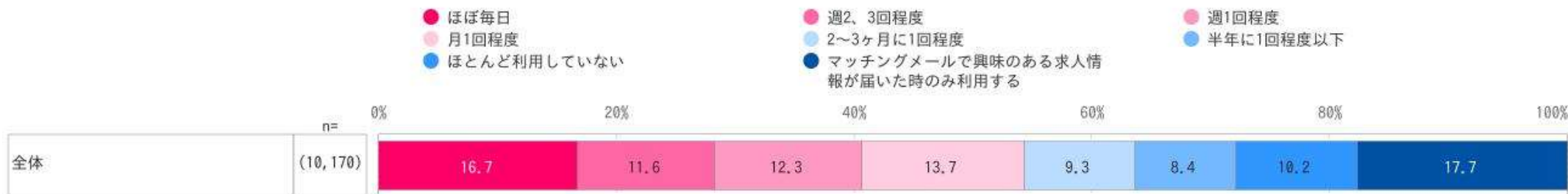
Q1

SA

JREC-IN Portalの利用頻度を選んでください。【必須】 【1つ選択】

- JREC-IN Portalの利用頻度は、「マッチングメールで興味のある求人情報が届いた時のみ利用する」が17.7%で最も高い。これに「ほぼ毎日」が16.7%、「月1回程度」が13.7%で続く。

※全体 n=10,170



調査結果の詳細：JREC-IN Portalユーザ登録有無

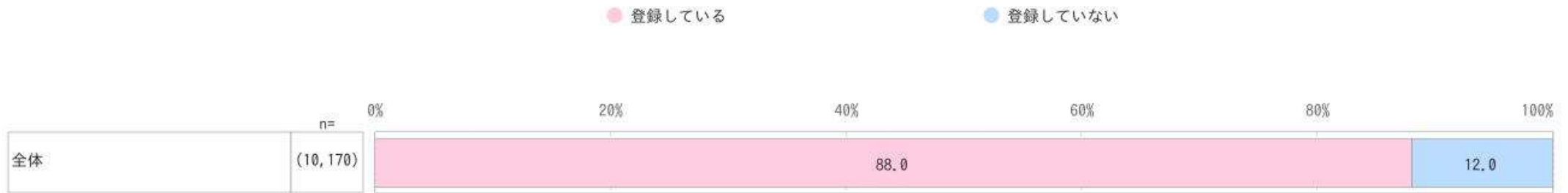
Q2

SA

ユーザ登録をしていますか。登録をしていない場合、理由を書いてください。【必須】
【1つ選択】※ユーザ登録をすると、マッチングメールの受信、求人機関（職業紹介事業者を含む）からの求職者照会メールの受信、JREC-IN Portal書式の履歴書、業績リスト作成等の機能を利用できます。

•登録状況について、「登録している」が88.0%とほとんどの割合を占めている。

※全体 n=10,170



調査結果の詳細：利用している求人求職機能

Q3

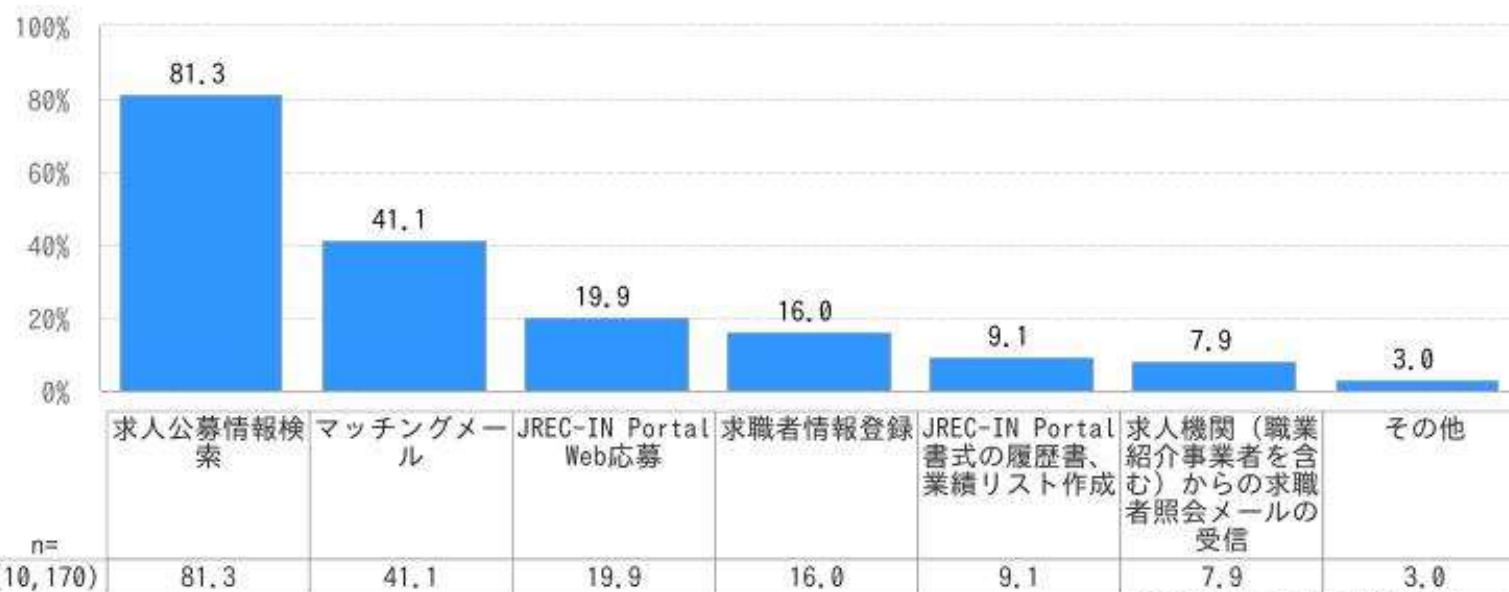
MA

利用している求人求職機能を選んでください。【必須】 【複数選択可】

- 利用している求人求職機能としては、「求人公募情報検索」が81.3%で最も高い。これに「マッチングメール」の41.1%、「JREC-IN Portal Web応募」の19.9%が続く。

※全体 n=10,170

● 全体



※全体のスコアで降順にソート

調査結果の詳細：Web応募機能の利用経験

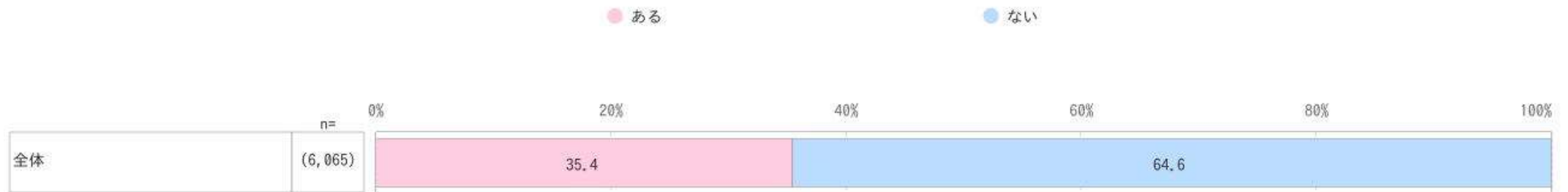
Q4

SA

JREC-IN Portal Web応募機能を使って応募したことはありますか。【必須】 【1つ選択】

- JREC-IN Portal Web応募機能の利用経験について、「ない」が64.6%と半数を超える。

※回答者 n=6,065



調査結果の詳細：Web応募機能

Q5

MA

JREC-IN Portal Web応募の長所・短所を選んでください。「3.操作方法が難しい」を選択した場合、具体的に書いてください。【必須】【複数選択可】

- JREC-IN Portal Web応募の長所・短所について、「応募できる求人公募情報が少ない」が53.9%と最も高く、「電子メール応募より、セキュリティ面で安心して利用できる」が32.0%と続く。

※回答者 n=6,065

● 全体



全体

n= (6,065)

53.9

32.0

27.3

1.3

10.7

※全体のスコアで降順にソート

調査結果の詳細：求職者照会メールの利用意向

Q6

SA

求人機関（職業紹介事業者を含む）からの求職者照会メールの受信について選んでください。【必須】【1つ選択】※登録ユーザーは、プロフィールを登録・公開することにより、求人機関からの求職者照会メールを受け取ることが可能です。2021年6月より新たに、職業紹介事業者から配信される、民間企業の求人に関する求職者照会メールを受信できるようになりました。

- 求職者照会メールの受信への意向としては、「求人機関および職業紹介事業者から受信したい」が32.1%と最も高い。「求人機関」「職業紹介事業者」いずれから受信したいを合わせると約6割がメールの受信意向がある。
- 「職業紹介事業者から求職者照会メールを受信できることを知らなかった」は29.7%。

※回答者 n=6,065



調査結果の詳細：職業紹介事業者

Q7

SA

求職者照会メールを受信したい、JREC-IN Portalと連携している職業紹介事業者はありますか。【必須】 【1つ選択】

- 求職者照会メールを受信したい職業紹介事業者としては、「まったくない」が68.6%と半数を超える。
- 次いで「1～2社」が13.1%、「3社以上」が9.7%と続く。

※回答者 n=6,065



調査結果の詳細：職業紹介事業者（自由記述回答）

Q8-1

FA

前問で「1～2社」「まったくない」を選択した理由を書いてください。【任意】 「1～2社」と回答

- ・職種別に、自由記述回答の一部を抜粋。※ランダムに掲載。なお、それ以外の回答はFA集を参照。

【機関の長相当】

- ・自分の希望と相手の希望。
- ・大学教員の公募（福岡県）があまり見つからなかった。

【教授相当】

- ・学術分野でマッチングサービスに対応可能なサービスは限定されているから。
- ・紹介会社をよく知らないため
- ・「定年後再就職」という特殊条件だから。
- ・条件が合わないため。
- ・現在のところ、異動・転職などの希望がないため

【准教授・常勤専任講師相当】

- ・相場が分からない
- ・国家公務員の再就職に関する法律に関わると思うので、あまり良く見ていない。
- ・そのくらいが適当な数だと判断したため。
- ・よくわからないから
- ・これまでに実際に、面談をしたことのある企業が2社あったので。

【助教相当】

- ・あまり詳しくない
- ・いくつか候補が出てきたが、知らない社名ばかりだったのでとりあえずスルーした。各社が何をやっていてどう違いがあるのかを書いてもらわないと、既知のサービスしか使えない。
- ・よくわからないから
- ・知っている紹介業者の数がその程度しかないため。

【研究員・ポスドク相当】

- ・思いついたのが「アカリク」のみだから。
- ・まだ詳しい会社を知らないため。今後、調べる予定だ。
- ・特技が限られているためチョイスが少ない
- ・あまり詳しくない
- ・全体数がわからなかったため、知っている企業が1-2社程度

【非常勤講師相当】

- ・いい仕事があれば、応募したいから。
- ・評判のいいところを順に使用しているから。
- ・転職先は考えがあるが、希望する勤務地にはまったく対象の企業がない
- ・他を知らない
- ・多すぎると煩雑になりそう

【研究開発・技術者相当】

- ・試しに
- ・信頼できるかどうかがよくわからないため、迷いがあります。
- ・たまたまそうになっている
- ・ある程度少数の会社と密に連絡を取りたい。

【専門学校・小中高等の教員相当】

- ・これといった思い当たる事業者が無いため。
- ・ある程度信頼できる会社を選定してもらいたいため
- ・自分としては適切であると考えているため
- ・詳しく知らない為

【学生（博士）】

- ・多いとメールが多くなるため
- ・職業紹介事業者が思い当たらない
- ・どのような組織団体があるのかまだわからない

【設計・開発】

- ・どういところが良いのか良く判らないため
- ・マッチする求人ではない。副業として仕事を探しているがその要望にマッチするものがない。

【調査・コンサルティング】

- ・理系の職種が多い気がします。仕方ないですね。
- ・JREC-INポータル以外からも情報機械を得たいため

調査結果の詳細：職業紹介事業者（自由記述回答）

Q8-2

FA

前問で「1～2社」「まったくない」を選択した理由を書いてください。【任意】 「まったくない」と回答

- ・職種別に、自由記述回答の一部を抜粋。※ランダムに掲載。なお、それ以外の回答はFA集を参照。

【機関の長相当】

- ・特に思いつかない
- ・大学その他の研究機関以外からの情報は要らないから。
- ・研究機関等への職業紹介事業者が少ない。
- ・特定の事業者の情報は不要

【教授相当】

- ・先方からの依頼は良いものが無いという、半ば経験に基づく偏見があるから
- ・当面、必要性を感じないから。
- ・メリットがわからないので。
- ・煩雑な情報は省きたいので。

【准教授・常勤専任講師相当】

- ・そのような会社を知らない
- ・そのような業者の存在自体を、良く分かっていないため。
- ・どういった企業かわからないので判断できない
- ・サービスをよく知らないため

【助教相当】

- ・特に具体的な社名が思いつかないから。
- ・どんな会社があるのかを知らない
- ・職業紹介事業者を仲介することの、自分への利益をあまり信じていない。
- ・複数あると管理が面倒だから

【研究員・ポスドク相当】

- ・知らなかった。
- ・個別に対応しているため。
- ・個別に管理しているから
- ・希望する職種とあわない

【非常勤講師相当】

- ・関心があるものが少ない
- ・利用する機会もなかったため。
- ・必要としていないから
- ・どんな会社があるのか知りません。

【研究開発・技術者相当】

- ・不安
- ・希望する業務とは全くかけ離れたものが多いから
- ・LinkedIn, Bizreach等他のツールで紹介者と十分に繋がれるから
- ・直接募集先に連絡した

【専門学校・小中高等の教員相当】

- ・文系研究者に適切な職業を紹介する事業者が見当たらない
- ・職業紹介事業者の機能を知らない
- ・自分で探して自分で決めるので、受信はタイミングでないときに来るから煩わしいだけ。
- ・できることが分からないだけである。

【学生（博士）】

- ・知らないため
- ・紹介会社がどのようなものか不明である。情報漏洩の危険性など、個人情報の保護にどの程度、対応しているか不明である。
- ・特にアカデミア以外を考慮していないため
- ・方法を理解していない

【設計・開発】

- ・求職先が大学のため
- ・知らなかった。

【調査・コンサルティング】

- ・年齢ではねられている。
- ・必要性を感じないため

調査結果の詳細：JREC-IN Portal役立ち度

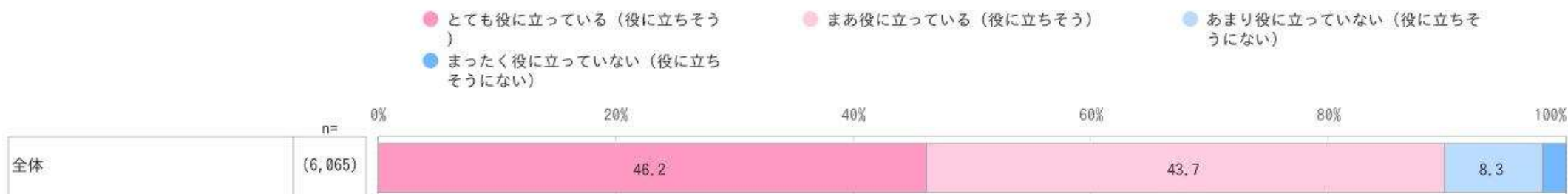
Q9

SA

JREC-IN Portalは求人情報を探すのに役立っていますか。または、役に立ちそうですか。
【必須】 【1つ選択】

- JREC-IN Portalの役立ち度として、「とても役に立っている（役に立ちそう）」が46.2%、「まあ役に立っている（役に立ちそう）」が43.7%であり、9割弱が「役に立った（役に立ちそう）」と回答している。

※回答者 n=6,065



調査結果の詳細：役に立っている理由

Q10 役に立っている（立ちそうな）理由を選んでください。【必須】 【複数選択可】

MA

- JREC-IN Portalの役に立っている（立ちそうな）理由としては、「無料で利用できる」が84.4%で最も高く、「公的機関のサービスであり信頼できる」が67.3%で続く。

※回答者 n=5,449

● 全体



	n=	無料で利用できる	公的機関のサービスであり信頼できる	求職活動を効率化できる	他に類似のサービスがない	情報量が多い	その他
全体	(5,449)	84.4	67.3	56.6	46.1	37.5	0.8

※全体のスコアで降順にソート

調査結果の詳細：役に立っていない理由

Q11

MA

役に立っていない（立ちそうにない）理由を選んでください。「5.より役立つサービスが他にある」を選んだ方は、そのサービスの名称を書いてください。【必須】【複数選択可】

- JREC-IN Portalの役に立っていない（立ちそうにない）理由としては、「応募しても採用されない」が47.1%、「情報量が少ない」が46.3%で上位。

※回答者 n=616

● 全体



	n=	47.1	46.3	12.8	8.4	7.5	12.3
全体	(616)						

※全体のスコアで降順にソート

調査結果の詳細：就職決定有無

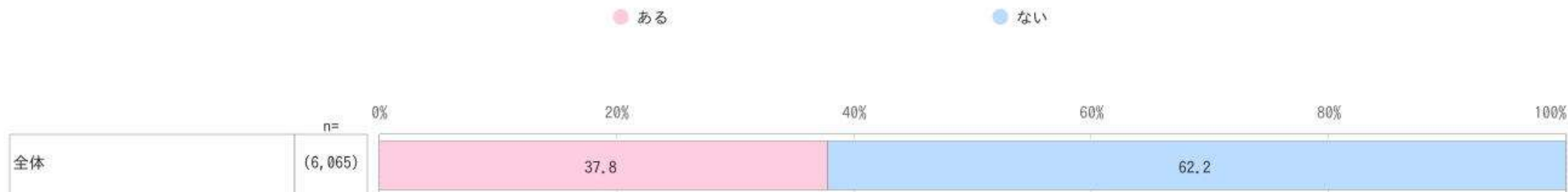
Q12

SA

これまでに、JREC-IN Portalの求人求職機能*を介して就職が決まったことはありますか。【必須】 【1つ選択】 *求人公募情報の検索機能、マッチングメール、求職者照会メール等

- JREC-IN Portalの求人求職機能を介した就職経験について、「ない」が62.2%と半数以上を占めている。

※回答者 n=6,065



調査結果の詳細：就職決定時期

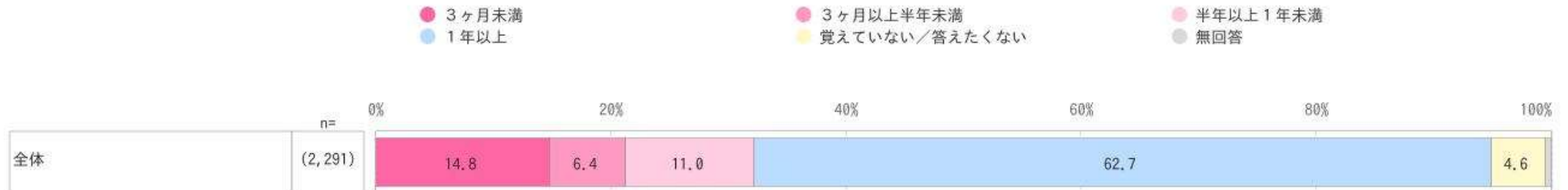
Q13

SA

直近で就職が決まった時期を選んでください。【任意】 【1つ選択】

- 直近で就職が決まった時期について、「1年以上」は62.7%と最も高く、「3ヵ月未満」の14.8%、「半年以上1年未満」が11.0%と続く。

※回答者 n=2,291



調査結果の詳細：就職決定前後の機関種別

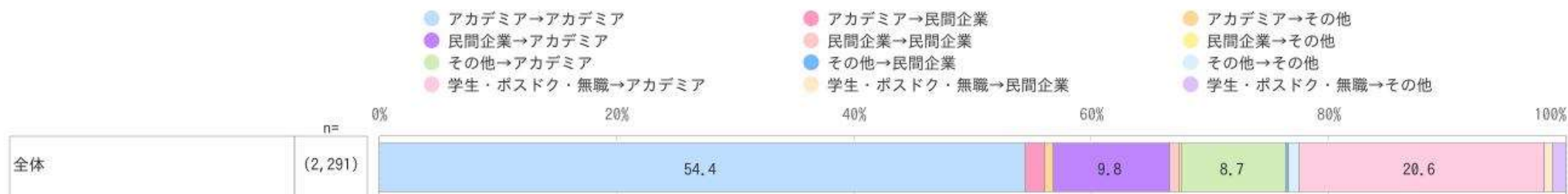
Q14

SA

就職前および就職先の機関の種別を選んでください。【必須】【1つ選択】
選択例) 就職前：民間企業、就職先：アカデミア の場合、「選択肢4 民間企業→アカデミア」を選んでください。※ アカデミア (大学・高専・短期大学・公的研究機関)

- 就職前および就職先の機関の種別としては、「アカデミア→アカデミア」が54.4%と最も高く、「学生・ポスドク・無職→アカデミア」が20.6%、「民間企業→アカデミア」が9.8%で続く。

※回答者 n=2,291



調査結果の詳細：利用満足度

Q15

SA

JREC-IN Portalを利用したことに満足していますか。【任意】 【1つ選択】

- JREC-IN Portalの利用満足度としては、「満足している」が94.6%でほとんどの割合を占めている。

※回答者 n=2,291



調査結果の詳細：希望職種

Q16

求めている職を選んでください。【任意】 【複数選択可】 ※JREC-IN Portalに限定せず、求人・求職情報全般を対象としてください。

- 求めている職について、「（国内）大学・公的研究機関の研究職」が83.0%で突出している。次いで「（国内）大学・公的研究機関の研究職以外（研究補助者を含む）」が24.9%となっている。

※全体 n=10,170

● 全体



※全体のスコアで降順にソート

調査結果の詳細：求人情報を希望する機関

Q17

MA

求人情報を希望する機関を選んでください。希望の職種・業務内容等を具体的に書いてください。【任意】【複数選択可】※JREC-IN Portalでは、研究人材の多様なキャリアパス開拓を支援するため、大学・公的研究機関のアカデミックポスト以外の求人情報も掲載しています。

- 求人情報を希望する機関としては、「官公庁・地方自治体」が30.8%で最も高く、「民間企業」が27.2%で続く。

※全体 n=10,170

● 全体



※全体のスコアで降順にソート

調査結果の詳細：JREC-IN Portal以外の求人情報

Q18

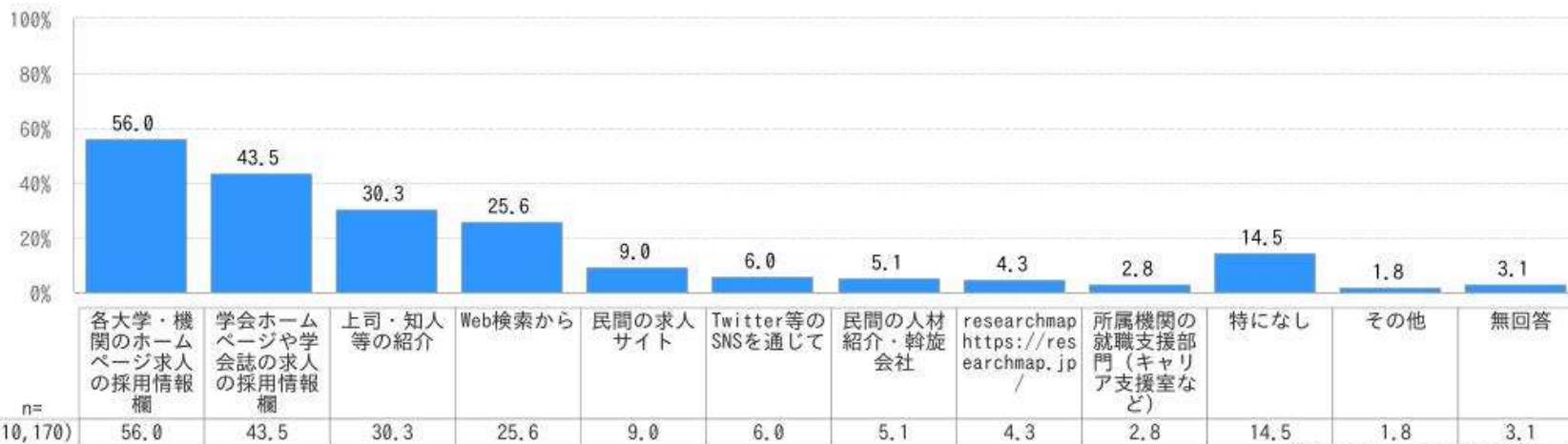
MA

JREC-IN Portal以外の求人情報の入手方法を選んでください。民間の求人サイトや人材紹介・斡旋会社を選んだ場合は、具体的にサイト名や会社名を書いてください。【任意】【複数選択可】

- JREC-IN Portal以外の求人情報の入手方法としては、「各大学・機関のホームページ求人の採用情報欄」が56.0%で最も高く、「学会ホームページや学会誌の求人の採用情報欄」の43.5%、「上司・知人等の紹介」の30.3%の順に続く。

※全体 n=10,170

● 全体



※全体のスコアで降順にソート

調査結果の詳細：JREC-IN Portalに期待する機能（抜粋）

Q19

JREC-IN Portalに装備してほしい機能や操作性等を書いてください。【任意】

FA

- ・職種別に、自由記述回答の一部を抜粋。※ランダムに掲載。なお、それ以外の回答はFA集を参照。

【機関の長相当】

- ・公正な選抜の担保
- ・使いやすくしてほしい
- ・Web公募できる大学を増やして欲しい。
- ・採用結果のところ少し分かりづらかったです。

【教授相当】

- ・操作性等は今のままでよいので、各大学に統一電子履歴書での応募を（一次審査だけでも）認めるよう働きかけていただければ幸いです。
- ・大学は、主として研究ができる環境と考えておりますが、特に、私立大学側では、科研費の申請を要求するが、それを実施する環境が設置されていない場合が多いようです。実際には、二次採用試験（面接）で「研究ができる環境かどうか」を知ることができました。公募にアプライする前に「研究ができる環境かどうか」を是非に開示してほしい。

【准教授・常勤専任講師相当】

- ・スマホ用ページ
- ・できれば検索でより細かく条件指定できると良いのではないのでしょうか。科研費応募でも使われている分野区分だけでなく、みんなが実感として持つ学部や研究科、研究のフィールドなどでも絞り込みできると良さそうです。フリーワードだとノイズが多いので、キーワード区分やジャンル区分、タグ付け的な要素があるとヒットしやすくなるかも？

【助教相当】

- ・子育て環境の有無。
- ・掲載機関後にも掲載履歴が残るようにしてほしい（掲載が残らないことがブラックラボ・ブラック企業等の求人や出来公募の温床になっているかと思えます）。

【研究員・ポスドク相当】

- ・①求人期間が短いものが多く、出来レースか求人を出しているのかわかりたいのです。書類作成に時間（郵便局に行き、書留で送る手間が大きい）がかかるので、無駄に公募実績を作るだけのために利用されていると感じます。②本当に求人を出している場合は、勤務時間や休日出勤などの雇用条件を書いてほしいです。③採用のための必須条件などを詳しく書いてほしいです。④お気に入り保存人数や応募人数が分かる機能が欲しいです。100人を超えて応募している場合もあるので。

【非常勤講師相当】

- ・各大学の募集要項に、定年を明記してもらいたい。当方が60歳代のため、定年がわからず、応募対象者の年齢を上回っているのに、無駄に応募している可能性がある。
- ・WEBで申し込んだ場合、採用不採用の結果がずっと表示されないことがほとんど。改善を。

【研究開発・技術者相当】

- ・あまりにハイスペックを求めすぎでは、実際に働いてもらってから評価してもらいたい。

【専門学校・小中高等の教員相当】

- ・論文検索の精度上昇
- ・画面が見にくいです。

【学生（博士）】

- ・募集を出していない機関に人材(自分)を売り込む機能
- ・応募済みか検討中か、といったフォルダ分け機能。特に応募済みは、締切後も公募情報を見れるようにしてほしい。
- ・マッチング機能
- ・過去に掲載されていた内容を見る機能（お気に入りに入れていたものだけでもよい。あとから採用条件がなんだったかわからなくなって困った）

【設計・開発】

- ・大学毎に異なる情報の統一化
- ・必要とされる専門性を選んで検索できる機能
- ・求人に応募する際に、個々の著作に関わるものを求められることに対し、採用或不採用の理由を鮮明に回答させることがないと、健全な労働市場を妨げる。間に介在する立場においては、この作用の適正を図る事が望まれる。

【調査・コンサルティング】

- ・現状のままでよい。
- ・年齢別、職務経験等での適性の明確化
- ・具体的な仕事の内容など、実務者のお話
- ・現状で良い。

調査結果の詳細：JREC-IN Portalに期待する機能（抜粋）

Q20

応募時や求人機関へのアピールのために、researchmapとの連携を期待する機能等を書いてください。【任意】
※JREC-IN Portalでは、JST が運営する研究者情報データベース（researchmap*）と連携し、履歴書や業績一覧を簡易に作成できます。
* researchmap (<https://researchmap.jp/>) は、約32万人の研究者が登録するデータベース型研究者総覧です。登録したプロフィール情報・業績情報は、連携するe-Radや大学データベースでも利用できるようにするため、申請書作成や業績登録を効率化できます。

FA

・職種別に、自由記述回答の一部を抜粋。※ランダムに掲載。なお、それ以外の回答はFA集を参照。

【機関の長相当】

- ・連携と言うよりも一体化すべきでは。
- ・プロフィールに即したマッチング機能

【教授相当】

- ・データをそのまま各大学の履歴書・業績書に連動できるようにしてほしい
- ・各学会の大会や論文に登録されている情報とのリンク
- ・“※JREC-IN Portalでは、JST が運営する研究者情報データベース（researchmap*）と連携し、履歴書や業績一覧を簡易に作成できます。”これはすごいですね。そしてそのまままで申請書がしあがるのなら…。大学によって違うから数日かかる作業がおっくうです。

【准教授・常勤専任講師相当】

- ・履歴書と業績一覧の連携を強化してほしい。
- ・以前のようにresearchmapのマイページにJREC-inの求人情報が掲載される仕様にしていただきたいです。
- ・なんでもかんでも連携しないでほしい
- ・researchmapとの連携の段階で、応募資格の有無を判断できるとありがたいです。

【助教相当】

- ・そもそも大学などが求人を出す際に、Jrecinから研究者を探そうとしているのか不明。どれくらいの実績があるのか知りたい。
- ・履歴書や研究業績書類のフォーマットを統一してほしい。
- ・応募書類における研究業績などを各大学の独自フォーマットではなく、researchmapの記載方法で統一してほしい

【研究員・ポスドク相当】

- ・（求人側の問題かもしれないが）researchmapを送るだけで、一次選考くらいはできてほしい。
- ・これはJST側の問題ではないのですが、採用する大学側が、もう少し自由な形式のCV・履歴書を認めていただいたり、電子提出を認めていただいたりしてほしいところです。
- ・researchmapに登録している情報にマッチする公募の提案

【非常勤講師相当】

- ・リサーチマップはそもそも科研NOもてない人には無縁なので、最初の就職にまったく役立たない。すでに研究職についている人が移動するのは比較的しやすい業界だが、新たに研究業界に入る人のハードルを上げる。既得権益にしか貢献しない制度を作るのはどうかと思う。既得権益者はすでに声掛け、一本づりもあるわけだし。
- ・実績が少ない研究者にとってキャリアアップできる研修や応募機会があれば嬉しいです。

【研究開発・技術者相当】

- ・Researchmapが使いづらいので、別の（よりグローバルな）サービスと連携して欲しい。
- ・逆公募という機能を持ってほしいと思います。登録者の情報を開示するので、各大学側で「この人」と思う人にアプローチをすることができて、大学側から登録者側にアプローチできるようになると、このサイトへの登録者も増えるし。マッチング機能も双方向になると思います。

【専門学校・小中高等の教員相当】

- ・リサーチマップは既得権益過ぎる。
- ・独自履歴書の公開
- ・アピールの問題ではない。

【学生（博士）】

- ・日本語の業績リストでも国際誌の業績が簡単にフィードできるようにしてほしい。（国際誌の業績は日本語で登録しないため）
- ・もうやっていると思いますが、業績一覧との連携です。
- ・まず、この機能を知らなかった。
- ・業績リストなどの一元化

【設計・開発】

- ・求められている専門性が明瞭にわかる機能
- ・採用結果後の、レビュー機能も付けて欲しい。

【調査・コンサルティング】

- ・指定の様式への記入をなくしてresearchmapから自動作成したCVを送れるようにする機能。

調査結果の詳細：役に立つコンテンツ

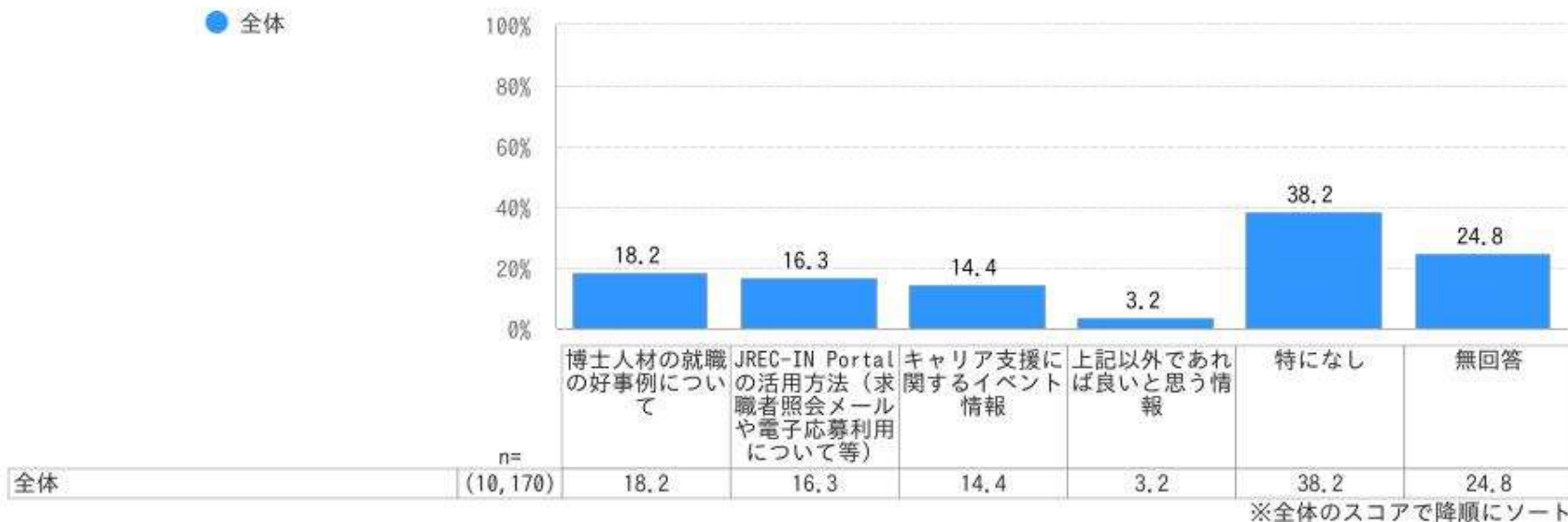
Q21

MA

就職活動において、JREC-IN Portalにあれば役に立つコンテンツ（読み物やイベント情報）を選んでください。希望する内容を具体的に書いてください。【任意】【複数選択可】

- JREC-IN Portalにあれば役に立つコンテンツとしては、「特になし」を除くと、「博士人材の就職の好事例について」が18.2%で最も高く、「JREC-IN Portalの活用方法」が16.3%、「キャリア支援に関するイベント情報」が14.4%で続く。

※全体 n=10,170



調査結果の詳細：ご意見・ご要望

Q22

MA

JREC-IN Portalへのご意見・ご要望を選び、その内容を具体的に書いてください。【必須】 【複数選択可】

- JREC-IN Portalへのご意見・ご要望について、「特になし」を除くと、「求人公募情報検索機能」が9.8%で最も高く、「マッチングメール」の6.1%、「JREC-IN Portal Web応募機能」の5.3%の順に続く。

※全体 n=10,170

● 全体



全体 (10,170)

※全体のスコアで降順にソート

調査結果の詳細：JREC-IN Portal以外で利用しているJST情報事業のサービス

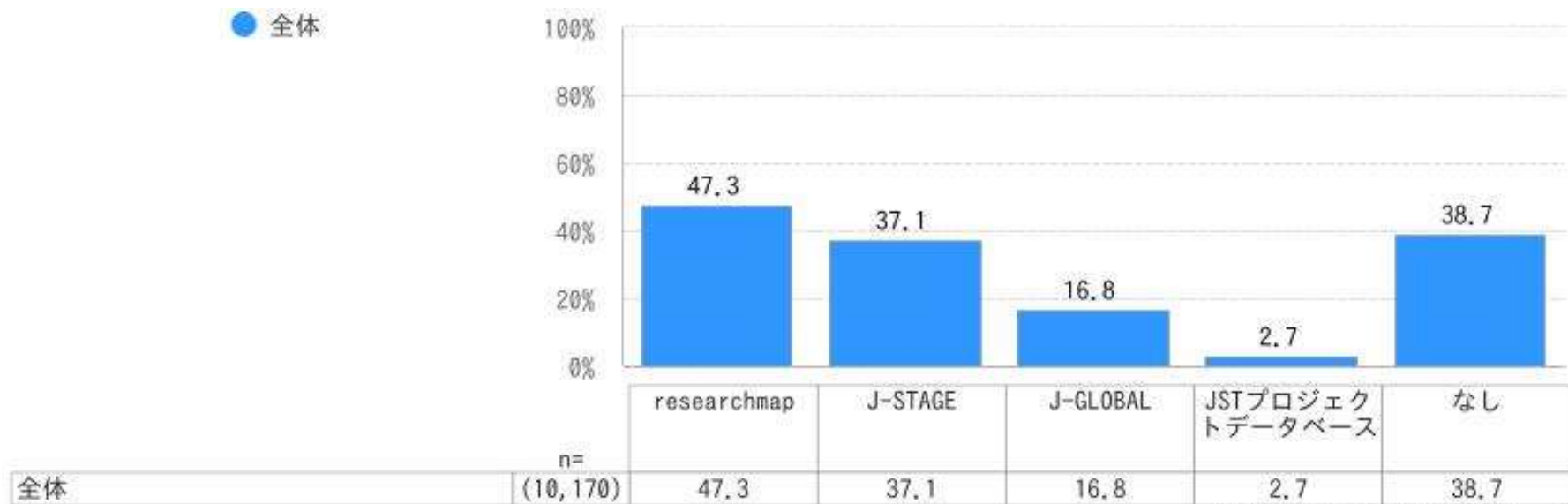
Q23

MA

JREC-IN Portal以外で利用しているJST情報事業のサービスを選んでください。【必須】 【複数選択可】

- JREC-IN Portal以外で利用しているJST情報事業のサービスとしては「researchmap」が47.3%で最も高く、「J-STAGE」が37.1%、「J-GLOBAL」が16.8%と続く。

※全体 n=10,170



※全体のスコアで降順にソート

調査結果の詳細

JREC-IN Portal以外で利用しているJST情報事業のサービス

Q24

JST情報事業の複数のサービスを並行して使っていてサービス間の連動において不便に感じることを書いてください。【任意】

FA

- ・ 職種別に、自由記述回答の一部を抜粋。※ランダムに掲載。なお、それ以外の回答はFA集を参照。

【機関の長相当】

- ・ 大学独自の業績録、文科省等の要望に応じて提出する業績録（たとえば教職、他の資格講義担当）などその度に作成するのは無駄である。こちらの業績録からワンクリックで作成できるようにすると良い。

【教授相当】

- ・ そもそもJSTの情報事業としての認知が低いので、連動そのものについて考えたことがありません。この問いが成立するには、広くJSTのサービスとしての認知を研究者に広げるのが先のような気がします。
- ・ 乱立している感がある
- ・ どのサイトがどのように連携されているのが分かりにくい。ログインは1本にして、内部の機能で複数サービスを選択できるように統一してほしい。

【准教授・常勤専任講師相当】

- ・ サービスが乱立している状況なので、非常に不便で使いづらい。サービスの一元化を進めてほしい。
- ・ そもそも大学事務が電子対応できる能力がないため、不用意に連携されると逆に困る
- ・ 連携機能が充実していない点。

【助教相当】

- ・ 連動している機能に気がついていなかったため、不便は感じたことがないです。
- ・ アカウントの統一
- ・ それぞれのサービスをJSTが運営していることを意識していなかったせいか、連動できる機能についてもほとんど知識がありませんでした。もっと宣伝していただくと助かります。

【研究員・ポスドク相当】

- ・ 不便はないが、連動させて有益だったこともありません。
- ・ 一方で入力している情報は少なくとも同期しておいてほしい。
- ・ researchmapの業績欄を、そのまま就活情報として採用側に利用することを義務化してほしい。各機関のフォーマットにあわせた業績書類の作成が大きな負担です。

【非常勤講師相当】

- ・ 電子公募や履歴書の手書き等国際化、DX後れを取っているのが気になりました。手書き書類提出があったり、手間を感じる時があります。
- ・ リサーチマップの情報はJRECにまったく受け継がれていない。履歴書や職務経歴書などを作る際に、うまく引き継がれる方法がないものかと思う。

【研究開発・技術者相当】

- ・ 相互のサービスが、各画面で行き来できるようになると便利だと思う。
- ・ 求人情報の印刷保存がすぐにできない。
- ・ マーキングしていません

【専門学校・小中高等の教員相当】

- ・ 不便を今さら言っても仕方がない。そのような段階ではない。盗作をさせないように知恵を絞ってください。
- ・ 通知がない

【学生（博士）】

- ・ アカウントを統一してほしい
- ・ サービスを提供して終わりではなく、普及させることをもっと考えてほしい。
- ・ ユーザー登録が一括して行えると便利

【調査・コンサルティング】

- ・ 翻訳が良くない
- ・ 論文などの検索がうまく一致しない。それぞれのシステムで微妙な違いがある。苗字と名前の間のスペースを入れるか、いれないかで検索結果が変わることがある等。
- ・ J-STAGEを利用しているが、論文などの文献を検索しているだけなので、連動についてはよくわからない。
- ・ 募集が終わっているのに掲載されているケースも多いかな。

調査結果の詳細：年齢

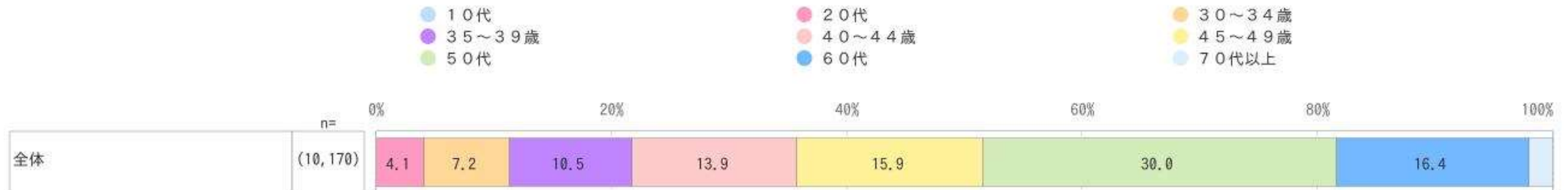
Q25

年齢をお選びください。【必須】 【1つ選択】

SA

- 回答者の年齢層としては、「50代」が最も多く、30.0%。これに「60代」が16.4%、「45～49歳」が15.9%と続く。

※全体 n=10,170



調査結果の詳細：地域

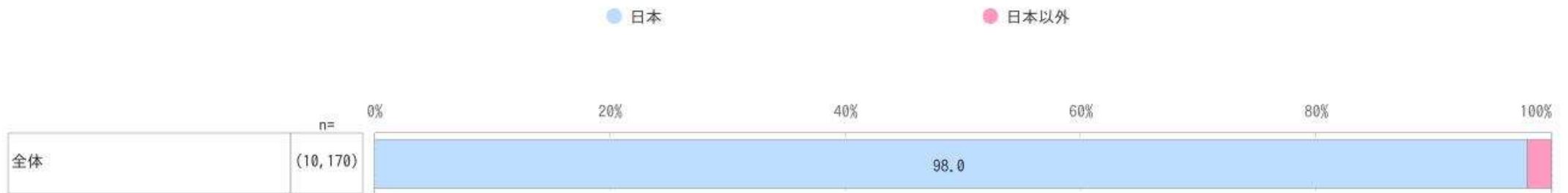
Q26

SA

現在お住まいの地域をお選びください。【必須】 【1つ選択】

- 現在の居住地としては、「日本」が98.0%とほとんどの割合を占める。

※全体 n=10,170



調査結果の詳細：所属

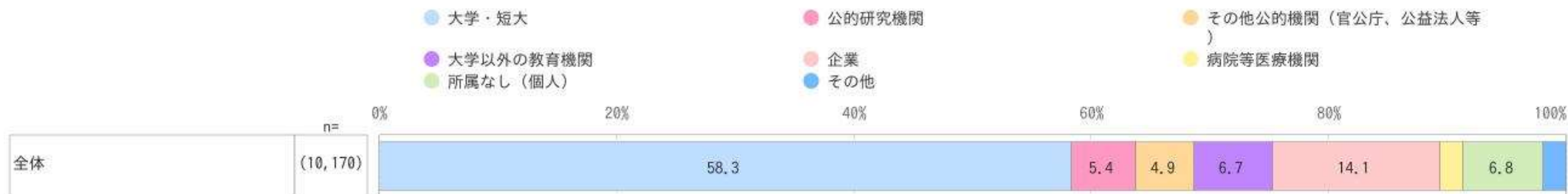
Q27

SA

現在の所属をお選びください。（複数ある場合は主たるもの）【必須】【1つ選択】

- 回答者の現在の所属としては、「大学・短大」が58.3%と最も多い。次いで「企業」が14.1%となる。

※全体 n=10,170



調査結果の詳細：職種

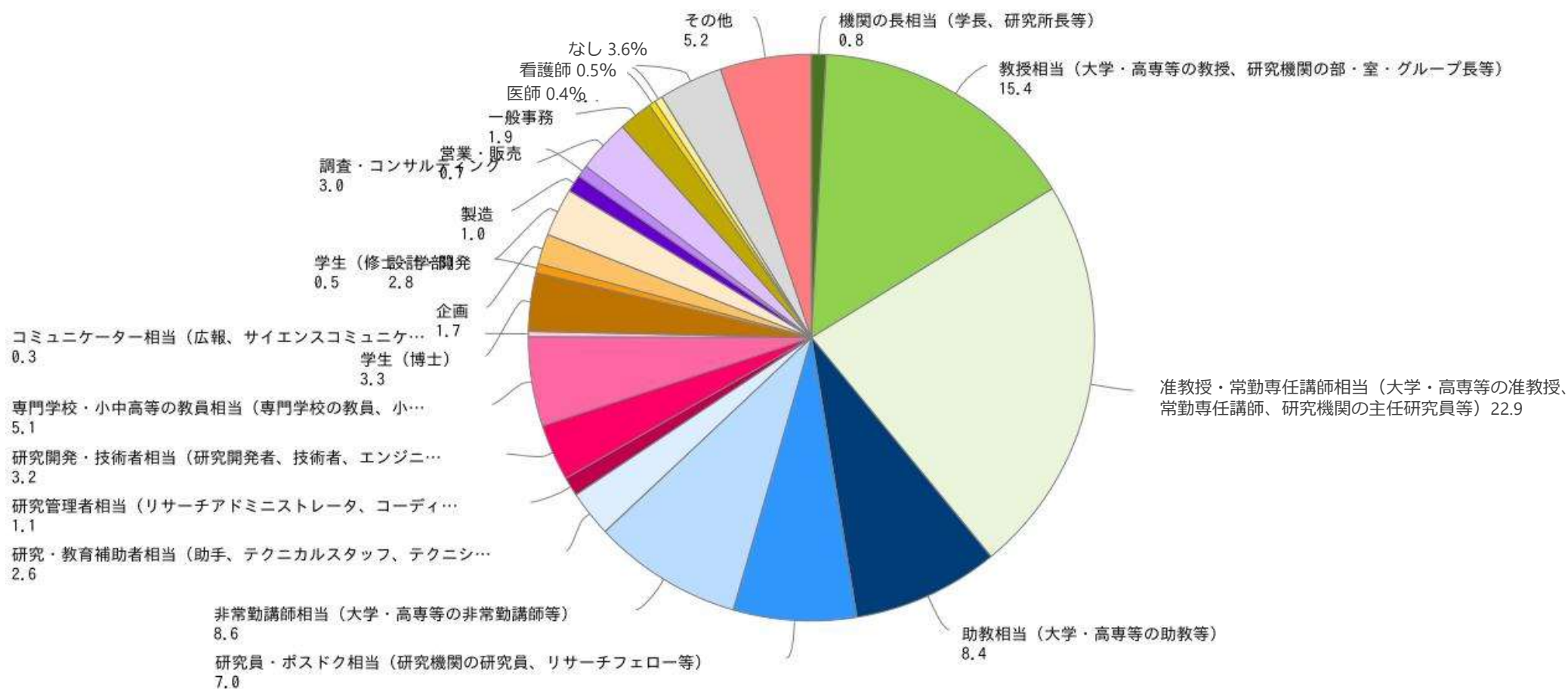
Q28

SA

現在の職種をお選びください。（複数ある場合は主たるもの）【必須】【1つ選択】

- 回答者の現在の職種については、「准教授・常勤専任講師相当」が22.9%と最も高い。「教授相当」が15.4%、「非常勤講師相当」が8.6%と続く。

※全体 n=10,170



調査結果の詳細：任期

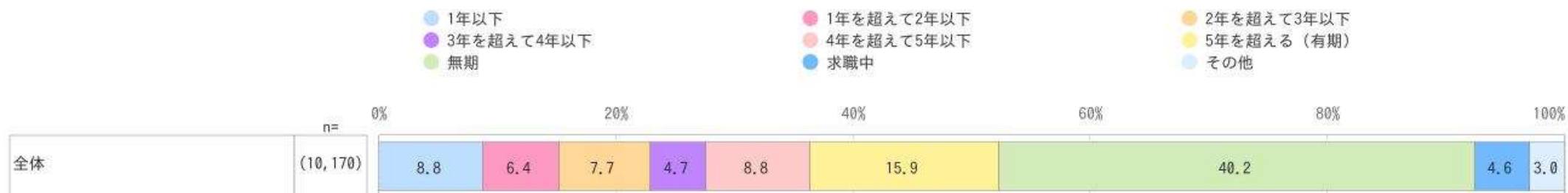
Q29

SA

現在の雇用の任期をお選びください。（残りではなく着任から数えた全体の期間。形式上は毎年度の更新制であっても実質的に保証されていると思われる場合はその期間）【必須】
【1つ選択】

- 回答者の現在の雇用任期については、「無期」が40.2%と最も高い。これに「5年を超える（有期）」が15.9%、「1年以下」「4年を超えて5年以下」が同率で8.8%と続く。

※全体 n=10,170



調査結果の詳細：専門分野

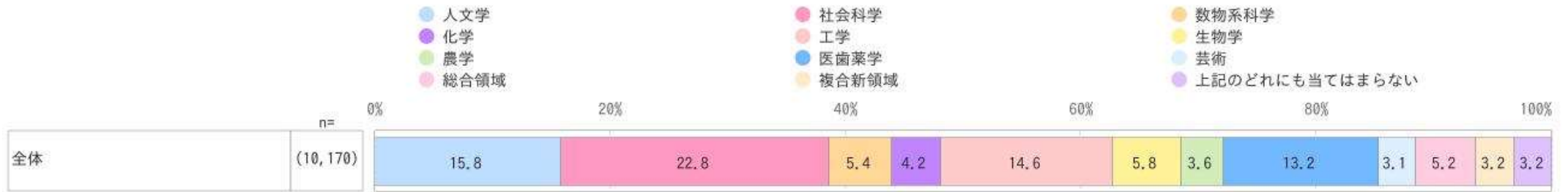
Q30

SA

あなたの専門に最も近い分野をひとつお選びください。【必須】 【1つ選択】

- 回答者の専門分野としては、「社会科学」が22.8%と最も高い。次いで「人文科学」が15.8%、「工学」が14.6%となる。

※全体 n=10,170



質問票

質問票-1

Q1. JREC-IN Portalの利用頻度を選んでください。【必須】【1つ選択】

1. ほぼ毎日
2. 週2、3回程度
3. 週1回程度
4. 月1回程度
5. 2～3ヶ月に1回程度
6. 半年に1回程度以下
7. ほとんど利用していない
8. マッチングメールで興味のある求人情報が届いた時のみ利用する

Q2. ユーザ登録をしていますか。登録をしていない場合、理由を書いてください。【必須】【1つ選択】

※ユーザ登録をすると、マッチングメールの受信、求人機関（職業紹介事業者を含む）からの求職者照会メールの受信、JREC-IN Portal書式の履歴書、業績リスト作成等の機能を利用できます。

1. 登録している
2. 登録していない 理由 []

Q3. 利用している求人求職機能を選んでください。【必須】【複数選択可】

1. 求人公募情報検索
- 【2～6は登録ユーザのみ利用可能な機能】
2. JREC-IN Portal Web応募
 3. JREC-IN Portal書式の履歴書、業績リスト作成
 4. 求職者情報登録
 5. マッチングメール
 6. 求人機関（職業紹介事業者を含む）からの求職者照会メールの受信
 7. その他 具体的に []

Q4. JREC-IN Portal Web応募機能を使って応募したことはありますか。【必須】【1つ選択】

1. ある
2. ない

Q5. JREC-IN Portal Web応募の長所・短所を選んでください。「3.操作方法が難しい」を選択した場合、具体的に書いてください。【必須】【複数選択可】

1. 電子メール応募より、セキュリティ面で安心して利用できる
2. 他の電子応募より操作方法が簡単である
3. 操作方法が難しい 具体的に []
4. 応募できる求人公募情報が少ない
5. その他 具体的に []

Q6. 求人機関（職業紹介事業者を含む）からの求職者照会メールの受信について選んでください。【必須】【1つ選択】

※登録ユーザーは、プロフィールを登録・公開することにより、求人機関からの求職者照会メールを受け取ることが可能です。2021年6月より新たに、職業紹介事業者から配信される、民間企業の求人に関する求職者照会メールを受信できるようになりました。

1. 求人機関および職業紹介事業者から受信したい
2. 求人機関から受信したい
3. 職業紹介事業者から受信したい
4. いずれも受信したくない
5. 職業紹介事業者から求職者照会メールを受信できることを知らなかった
6. その他 具体的に []

質問票-3

Q13. 直近で就職が決まった時期を選んでください。【任意】【1つ選択】

1. 3ヶ月未満
2. 3ヶ月以上半年未満
3. 半年以上1年未満
4. 1年以上
5. 覚えていない／答えたくない

Q14. 就職前および就職先の機関の種別を選んでください。【必須】【1つ選択】

選択例) 就職前：民間企業、就職先：アカデミア の場合、「選択肢4 民間企業→アカデミア」を選んでください。

※アカデミア（大学・高専・短期大学・公的研究機関）

1. アカデミア→アカデミア
2. アカデミア→民間企業
3. アカデミア→その他
4. 民間企業→アカデミア
5. 民間企業→民間企業
6. 民間企業→その他
7. その他→アカデミア
8. その他→民間企業
9. その他→その他
10. 学生・ポスドク・無職→アカデミア
11. 学生・ポスドク・無職→民間企業
12. 学生・ポスドク・無職→その他

Q15. JREC-IN Portalを利用したことに満足していますか。【任意】【1つ選択】

1. 満足している
2. 満足していない
3. その他 具体的に []

Q16. 求めている職を選んでください。【任意】【複数選択可】

※JREC-IN Portalに限定せず、求人・求職情報全般を対象としてください。

1. (国内) 大学・公的研究機関の研究職
2. (国内) 大学・公的研究機関の研究職以外（研究補助者を含む）
3. (海外) 大学・公的研究機関の研究職
4. (海外) 大学・公的研究機関の研究職以外（研究補助者を含む）
5. 企業の研究開発技術職
6. 企業の研究開発技術職以外
7. 専門学校教員職
8. 小中高等学校教員職
9. リサーチアドミニストレータ、コーディネータ等
10. 広報、サイエンスコミュニケーター等
11. その他 具体的に []

Q17. 求人情報を希望する機関を選んでください。希望の職種・業務内容等を具体的に書いてください。【任意】【複数選択可】

※JREC-IN Portalでは、研究人材の多様なキャリアパス開拓を支援するため、大学・公的研究機関のアカデミックポスト以外の求人情報も掲載しています。

1. 民間企業 具体的に []
2. 官公庁・地方自治体 具体的に []
3. 小中高校等の教育機関 具体的に []
4. その他 具体的に []

Q18. JREC-IN Portal以外の求人情報の入手方法を選んでください。民間の求人サイトや人材紹介・斡旋会社を選んだ場合は、具体的にサイト名や会社名を書いてください。【任意】【複数選択可】

1. 各大学・機関のホームページ求人の採用情報欄
2. 学会ホームページや学会誌の求人の採用情報欄
3. Web検索から
4. Twitter等のSNSを通じて
5. 上司・知人等の紹介
6. 民間の求人サイト 具体的に []
7. 民間の人材紹介・斡旋会社→自由入力（任意）
8. 所属機関の就職支援部門（キャリア支援室など）
9. researchmap <https://researchmap.jp/>
10. 特になし
11. その他 具体的に []

質問票-4

Q19. JREC-IN Portalに装備してほしい機能や操作性等を書いてください。【任意】
[]

Q20. 応募時や求人機関へのアピールのために、researchmapとの連携を期待する機能等を書いてください。【任意】

※JREC-IN Portalでは、JST が運営する研究者情報データベース（researchmap*）と連携し、履歴書や業績一覧を簡易に作成できます。

* researchmap (<https://researchmap.jp/>) は、約32 万人の研究者が登録するデータベース型研究者総覧です。登録したプロフィール情報・業績情報は、連携するe-Radや大学データベースでも利用できるため、申請書作成や業績登録を効率化できます。

[]

Q21. 就職活動において、JREC-IN Portalにあれば役に立つコンテンツ（読み物やイベント情報）を選んでください。希望する内容を具体的に書いてください。【任意】【複数選択可】

1. 博士人材の就職の好事例について 具体的に []
2. キャリア支援に関するイベント情報 具体的に []
3. JREC-IN Portalの活用方法（求職者照会メールや電子応募利用について等）
具体的に []
4. 上記以外であれば良いと思う情報 具体的に []
5. 特になし

Q22. JREC-IN Portalへのご意見・ご要望を選び、その内容を具体的に書いてください。【必須】【複数選択可】

1. 求人公募情報検索機能 具体的に []
2. JREC-IN Portal Web応募機能 具体的に []
3. JREC-IN Portal書式の履歴書、業績リスト作成機能
具体的に []
4. 求職者情報登録 具体的に []
5. マッチングメール 具体的に []
6. 求人機関（職業紹介事業者を含む）からの求職者照会メールの受信
具体的に []
7. 特になし
8. その他 具体的に []

Q23. JREC-IN Portal以外で利用しているJST情報事業のサービスを選んでください。【必須】【複数選択可】

1. J-GLOBAL
2. J-STAGE
3. JSTプロジェクトデータベース
4. researchmap
5. なし

Q24. JST情報事業の複数のサービスを並行して使っていてサービス間の連動において不便に感じることを書いてください。【任意】

[]

Q25. 年齢をお選びください。【必須】【1つ選択】

1. 10代
2. 20代
3. 30～34歳
4. 35～39歳
5. 40～44歳
6. 45～49歳
7. 50代
8. 60代
9. 70代以上

Q26. 現在お住まいの地域をお選びください。【必須】【1つ選択】

1. 日本
2. 日本以外

質問票-5

Q27. 現在の所属をお選びください。（複数ある場合は主たるもの）【必須】【1つ選択】

1. 大学・短大
2. 公的研究機関
3. その他公的機関（官公庁、公益法人等）
4. 大学以外の教育機関
5. 企業
6. 病院等医療機関
7. 所属なし（個人）
8. その他（自由入力）

Q28. 現在の職種をお選びください。（複数ある場合は主たるもの）【必須】【1つ選択】

1. 機関の長相当（学長、研究所長等）
2. 教授相当（大学・高専等の教授、研究機関の部・室・グループ長等）
3. 准教授・常勤専任講師相当
（大学・高専等の准教授、常勤専任講師、研究機関の主任研究員等）
4. 助教相当（大学・高専等の助教等）
5. 研究員・ポスドク相当（研究機関の研究員、リサーチフェロー等）
6. 非常勤講師相当（大学・高専等の非常勤講師等）
7. 研究・教育補助者相当（助手、テクニカルスタッフ、テクニシャン、技術員、研究補助員、実験補助員、実習指導員等）
8. 研究管理者相当
（リサーチアドミニストレータ、コーディネータ、プログラムオフィサー等）
9. 研究開発・技術者相当（研究開発者、技術者、エンジニア等）
10. 専門学校・小中高等の教員相当
（専門学校の教員、小中高等学校の教員等）
11. コミュニケーター相当（広報、サイエンスコミュニケーター、科学技術スペシャリスト、科学技術ジャーナリスト等）
12. 学生（博士）
13. 学生（修士・学部）
14. 企画
15. 設計・開発
16. 製造
17. 営業・販売
18. 調査・コンサルティング
19. 一般事務
20. 医師
21. 看護師
22. なし
23. その他（自由入力）

Q29. 現在の雇用の任期をお選びください。（残りではなく着任から数えた全体の期間。形式上は毎年度の更新制であっても実質的に保証されていると思われる場合はその期間）【必須】【1つ選択】

1. 1年以下
2. 1年を超えて2年以下
3. 2年を超えて3年以下
4. 3年を超えて4年以下
5. 4年を超えて5年以下
6. 5年を超える（有期）
7. 無期
8. 求職中
9. その他

Q30. あなたの専門に最も近い分野をひとつお選びください。【必須】【1つ選択】

1. 人文学
2. 社会科学
3. 数物系科学
4. 化学
5. 工学
6. 生物学
7. 農学
8. 医歯薬学
9. 芸術
10. 総合領域
11. 複合新領域
12. 上記のどれにも当てはまらない